

## 【NEWS RELEASE】

2023 年 3 月 31 日

各 位

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社

金融経済教育における「社会的インパクト評価」の実施について

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社（代表取締役社長：金子 良平）は、2020 年度より実施している「PROMISE 金融経済教育セミナー」（以下、本事業）（注 1）を対象事業とした「社会的インパクト評価」（以下、本評価）（注 2）を今年度も実施いたしました。

本年は、新たに制作したアクティブラーニング型セミナー（注 3）と、2020 年度より検証している聴講集中型セミナーがもたらす効果の違いについて、全国 13 校、合計 1,600 名以上の受講者の高校生からのアンケート調査と、抽出した参加者へのインタビューに対して、プログラムを受講しない対象群の高校生からの回答と比較する形で評価を実施、これまで 150 万人以上が参加した本事業の社会的インパクトを推定いたしました。

なお本評価は、特定非営利活動法人ソーシャルバリュージャパンが実施し、報告書を当社ホームページ（別紙：2022 年度「PROMISE 金融経済教育セミナー」社会的インパクト評価報告書\_2 コース比較）にて公表しております。

※参考：調査票

SMBCグループは、サステナビリティ宣言に基づきお客さまをはじめとするステークホルダーとの対話を重ね、共に行動することにより、サステナビリティの実現に積極的に貢献してまいります。その一環として、成年年齢引き下げや学習指導要領改訂に伴い、社会や教育現場からの金融教育の必要性を求める声にお応えすべく、今後も SMBCグループ各社の強みや特色をいかした教育機会を通じて、社会的価値の提供に向けた取り組みを推進してまいります。

以 上

(ご参考) 本評価のサマリー

2020 年度社会的インパクト評価を通して有効性が確認されたロジックモデルに基づき、**全国 13 校、合計 1,600 名以上の受講者の高校生からのアンケート調査と、抽出した参加者へのインタビュー**に対して、プログラムを受講しない対照群の高校生からの回答と比較する形で評価を実施し、これまで 150 万人以上が参加した本事業全体の社会的インパクトを推計した。本年度評価から得られた知見とプログラムへの提言の概要は、以下の通りである。

## 社会的インパクト評価から得られた知見

### 1. 事業実施による金融リテラシー向上の効果確認

- ・ 客観的金融リテラシー（金融リテラシー・マップ分野）は、アクティブラーニング型セミナー、聴講集中型セミナー共に、**セミナー受講による緩やかな向上が確認され、特に女子学生において高い効果が期待できる。**
- ・ 主観的金融リテラシーは、**アクティブラーニング型セミナーの受講により、全ての属性においてスコアが向上しており、当該コースによる高い効果が期待できる。**
- ・ 聴講集中型においては、女子学生への効果は確認できなかったが、**男子学生においては聴講集中型セミナー受講による主観的金融リテラシー向上の効果が期待できる。**

### 2. アクティブラーニング型実施によるインパクトの確認

資質・能力の育成プロセスは、聴講集中型セミナーによりスコアが緩やかに向上するのに対して、アクティブラーニング型では、「興味・関心」、「批判的思考力」、「外部知見の活用」を中心に大きくスコアが向上しており、アクティブラーニング型セミナー受講による高い効果が期待される。これは、**学生が積極的に学び参加するアクティブラーニング型セミナーの受講が、金融経済分野に対する関心喚起や外部知見の活用の重要性を認識する契機となったと考えられ、アクティブラーニング型「PROMISE 金融経済教育セミナー」の目的・手法とその効果に整合性があると考えられる。**

(注 1) PROMISE 金融経済教育セミナー

SMB C コンシューマーファインズ株式会社が、未来を担う学生や地域の方々のお金に関する正しい知識と適切な判断力の習得を支援すべく、2011 年より全国にあるお客様サービスプラザが主体となり開催しているもの。

(注 2) 社会的インパクト評価

事業や活動の短期・長期の変化を含めた結果から生じた「社会的・環境的な変化、便益、学び、その他の効果」を定量的・定性的に把握し、事業や活動について価値判断を加えること。詳しい解説については、SMB C グループが設立した環境・社会課題解決のための事業者コミュニティ「GREEN×GLOBE Partners」の専用ウェブサイトにて掲載。

(注3) アクティブラーニング型セミナー

「とりあえず書いてみる」「ちょっと考えてみる」「みんなで調べてみる」等のサイクルで正解のない問いに対して生徒全員が参画できる“お金”を切り口とした新しい形のグループワーク型プログラム。

【関連ニュースリリース】

- ・2022年4月4日配信：[https://www.smbc-cf.com/news/news\\_20220404\\_1014.html](https://www.smbc-cf.com/news/news_20220404_1014.html)
- ・2022年11月2日配信：[https://www.smbc-cf.com/news/data/2023/12/news\\_20221102.pdf](https://www.smbc-cf.com/news/data/2023/12/news_20221102.pdf)

- 社会的インパクト評価入門～第1回 なぜ、社会的インパクト評価が必要とされるのか  
<https://ggpartners.jp/article/000053.html>
- 社会的インパクト評価入門～第2回 社会的インパクト評価の手法・展望・課題  
<https://ggpartners.jp/article/000062.html>